24. Webプログラミングを用いたアプリケーションの開発

研究者 　　溝大貴

指導教員　　岸田一也

1　はじめに

　本研究の目的はシングルページwebアプリケーションとして授業評価アンケートを作成することである．シングルページwebアプリケーションとして，授業評価アンケートを作成することにより，経済性の向上，利便性の向上，製作者，ユーザ双方の労力の削減が期待できる．さらに，質問形式に適したユーザインターフェース，ユーザ体験の向上など，汎用性の高いシステムを構築できることが強みとなる．

鹿児島工業高等専門学校では従来，マークシート方式の授業評価アンケートを採用していた．しかし，マークシート方式は多くの紙資源を消費するため経済的でない．一方，web上でアンケートを実施することで紙資源を消費せずにアンケートを実施できる．また，マークシート方式では回答用紙を機械にかけて読み込ませる作業などの制作者の労力を必要とする．一方，web上でアンケートを実施することで参加者からの回答は直接コンピュータに転送されるため製作者の労力も削減できる．さらに，web上でアンケートを実施することでユーザはインターネットに接続可能な環境下において，時間や場所にとらわれずにアンケートに回答できるという利便性を享受できる．

2　ソフトウェアの開発

授業評価アンケート画面は，図2のような外観になっている．この画面は評価される教科が上から順に並んでいる．参加者は，教科ごとのスライダーを動かし1～5の間で授業を評価する．全ての評価軸で授業を評価すると図3に示す「内容確認画面」に遷移する．ここで「確定」ボタンをクリックすることで，この授業の評価を確定させる．すべての項目について評価するとアンケート終了である．



Fig. 2 Course evaluation questonnaire



Fig. 3 Screen of confirming contents

3　まとめ

　本研究ではシングルページwebアプリケーションとして授業評価アンケートを作成した．その結果，紙資源を消費せずに授業評価アンケートを実施することができた．また，web上でアンケートを実施することで質問内容に適したユーザインターフェースを実装することができた．しかし，結果の集計を自動化することはできなかった．そのため，今後は結果の集計を自動化する機能を実装していきたい．

4　謝辞

本研究を行うにあたり，指導教員の岸田一也教授から，丁寧かつ熱心なご指導を賜りました，ここに感謝の意を表します．